

- 「.jp」が売れてない理由は、価格である。卸値が高いために小売り価格が下げられない。(GMOインターネット(株))
- 「.jp」は欲しい、欲しいけど高い、高いので仕方なくcomを使っているという話を結構聞く。(沢田委員)
- ccTLDは価格が高くてもやむなく買うが、gTLDは、他のgTLDに代替性があるために、高いものは買わない傾向があるということを知ったことがあり、ccTLDとgTLDは完全に代替可能なものではないのではないか。(上村委員)
- サーバーの数を減らせばかなりの料金を下げることができる。ただ、万が一の状態を作りたくない。((株)JPRS)
- 「.jp」は必要な人にとってはそれほど高くない。低価格にすることにはスクワッティングなどの弊害もある。(さくらインターネット(株))
- 信頼性を確保しようとするれば当然コストは上がる。価格が高くても安全性を高いほうを選ぶのか、安全性は多少犠牲にして価格の安いほうを選ぶのかというのはユーザーに任されている、前提無く安いものがないとすると違和感がある。(土井委員)
- マルチステークホルダーという中で、透明性だけではなく、価格決定の中身までつまびらかにすべきなのかというのは、多少議論はある。(土井委員)
- 研究開発にかかわる部分、レジストリが本来設けないといけない部分、サービスとしてやっているレジストリ以外の部分に関するコストの区別くらいは情報公開された方が良く考えている。(さくらインターネット(株))